

# 自分たちの可能性を見つける 県北中学校職場体験



**働くことの大切さを学ぶ**

県北中学校の2年生63人が、7月11日から12日の2日間、町内外の16事業所で職場体験を行いました。

生徒たちは、小売店から官公庁、飲食店や教育施設、病院や農業などさまざまな分野の仕事を経験。その職業で働く、社会の先輩たちと仕事を共にすることで、社会生活の一般常識はもちろん、仕事に必要な知識や技術、働くことの意義を学びました。

教室の授業だけでは学べない、それぞれの職場の雰囲気や、働く人たちの仕事に対する思いを、肌で直接感じる貴重な機会となりました。



**将来の夢に向かって**

職場の先輩たちから「まごころを持つてお客様と向き合うことが大切」「何度も失敗を経験することで、技術や知識が身につく」と教わり、職場体験に臨んだ生徒たち。

初日は不安な表情を見せていた生徒たちも、2日間の職場体験を終える頃には、笑顔で仕事に取り組み姿も。その姿に、さまざまな壁を乗り越え、自分の夢をかなえようとする強い意思が感じられました。

1. 園児たちとおやつ時間① (くにみ幼稚園) 2. 販売用のジャガイモをきれいにします (くにみ農業ビジネス訓練所) 3. プールにも入りました (くにみ幼稚園) 4. 真剣にレジ打ち作業 (道の駅国見あつちの郷) 5. 園児たちとおやつ時間② 6. 丁寧に商品の品出し (コープふくしま国見店)

# 子どもたちが 国見町の未来を考える



## 令和5年度国見町子ども議会

子ども議長：大内美花さん  
子ども議員：村上笑平さん、野村鴻志さん、半澤奏弦さん、齋藤 遥さん、大勝美緒さん

### 子どもたちが考えたまちづくり

国見町子ども議会が7月18日、国見町役場の議場で開催されました。県北中学校3年生の生徒が子ども議長と議員になり、まちづくりに関する質問や提言をしました。

議長の大内美花さんが議会の開会宣言をすると、議員席に座る子ども議員の5人は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。町の移住施策や企業誘致、農地の最適化利用の取り組みや商業施設の建設・誘致、空き施設の活用や高齢者対策など幅広い質問に、引地真町長や担当課長が丁寧に答弁しました。

傍聴した生徒たちも、子ども議員の質問や町からの回答を真剣にメモする姿が見られました。

町の将来を担う子どもたちが、まちづくりへの関心を高め、これからの町の在り方を考える貴重な機会となりました。

